

決算概要

カガクで
ネガイを
カナエル会社

KANEKA

平成26年3月期
第2四半期

株式会社 カネカ

平成25年11月11日(月)

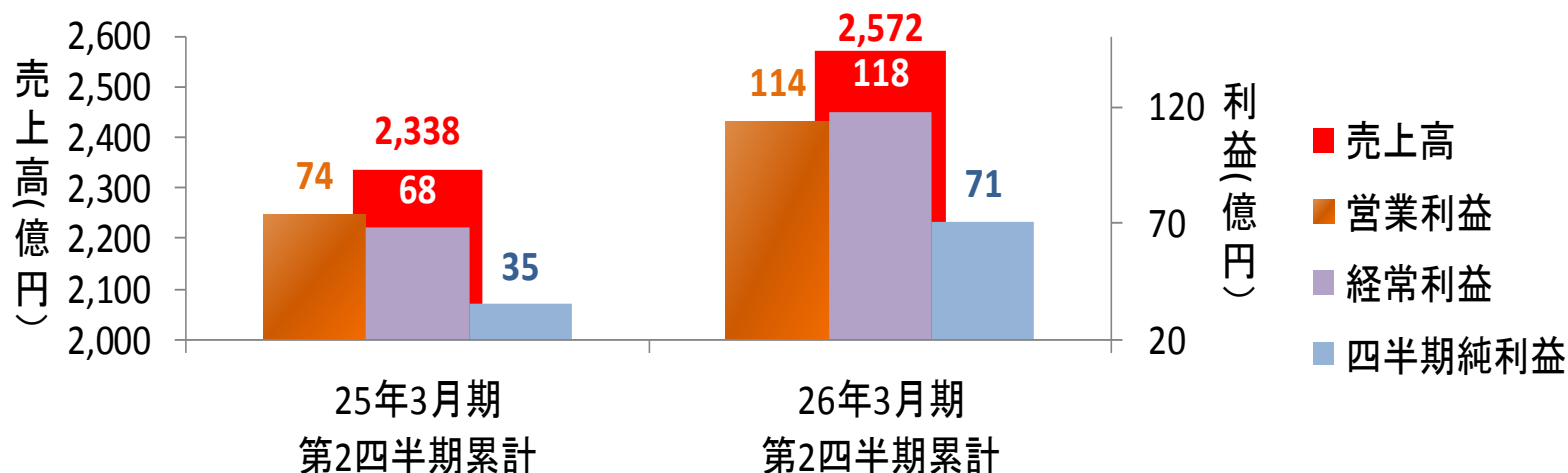
目次

§ 業績概要	P. 3
§ セグメント別事業概況	P. 4
§ 業績予想	P. 5
§ トピックス	P. 6

業績概要

- ◎対前年で増収、各利益段階とも増益。
- ◎売上高は対前年同期比10%増。売上高の伸びが加速。
- ◎R & D活動の強化、グローバル展開の促進、事業構造の変革を推進。

	25年3月期 第2四半期累計	26年3月期 第2四半期累計	増減
売上高	2,338	2,572	234
営業利益	74	114	40
経常利益	68	118	50
四半期純利益	35	71	35



セグメント別 事業概況

◎売上高は全セグメントで増収。営業利益は、機能性樹脂、食品、合成繊維、その他が増益、エレクトロニクスは黒字化。全セグメントで黒字。

- エレクトロニクス：超耐熱性ポリイミドフィルムの販売が増加。透明導電性フィルム（ITOフィルム）本年度事業化。太陽電池の国内住宅市場向け販売が増加
- ライフサイエンス：還元型コエンザイムQ10の販売が増加
- 機能性樹脂：モディファイヤー、変成シリコンポリマーの販売が国内外で増加
- 合成繊維、その他：高付加価値品の拡販進む



(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	25年3月期 第2四半期累計	26年3月期 第2四半期累計	25年3月期 第2四半期累計	26年3月期 第2四半期累計
化成品	469	516	22	12
機能性樹脂	355	419	32	44
発泡樹脂製品	290	321	22	19
食品	633	651	22	25
ライフサイエンス	221	223	39	31
エレクトロニクス	202	245	△17	9
合成繊維、その他	168	198	26	44
調整額	—	—	△71	△69
計	2,338	2,572	74	114

業績予想

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期		増減			
	第2四半期累計 実績	通期 実績	第2四半期累計 実績	通期 予想	第2四半期累計 実績		通期 予想	
売上高	2,338	4,765	2,572	5,300	234	10.0%	535	11.2%
営業利益	74	158	114	300	40	53.4%	142	89.8%
経常利益	68	163	118	280	50	73.8%	117	71.3%
当期純利益	35	93	71	150	35	100.0%	57	60.9%

◎通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

(グローバル展開)

○ポリイミドフィルム、マレーシアに新工場が稼動

ポリイミドフィルム事業の競争力強化、事業拡大を目指し、新会社 Kaneka Apical Malaysia Sdn.Bhdを昨年2月にマレーシアに設立し、新工場を建設しておりましたが、このほど完成し、10月より試運転を開始しました。

年産約600トンの能力を持つ同工場の増強により、日本・米国・マレーシアでの合計生産能力は3,200トンとなりました。2016年までに更なる能力増強も計画しております。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/120419>



○中国華南地区で発泡ポリオレフィンの新工場が稼動

自動車部品及びスマートフォンなど電子部品向け包装資材で更なる需要拡大が見込まれる華南地区に鐘化(佛山)化工有限公司を設立し、発泡ポリオレフィンビーズの新工場建設を行っておりましたが、このほど完成し、10月より稼働を開始しております。

中国では蘇州愛培朗緩衝塑料有限公司に次いで第二の拠点となり中国国内の生産規模は併せて年産9,000トン。今後は、需要増に応じて総生産量15,000トンを視野にいれ増設の検討も行っていきます。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/120620>
<http://www.kaneka.co.jp/service/news/120720>



(グローバル展開)

○ブラジルに新会社を設立

当社関連製品の販売促進、市場調査、技術サービスを行うカネカサウスアメリカプレゼンタティブ有限会社をブラジル連邦共和国サンパウロ市に10月1日に設立し、10月22日に開業記念式典を開催しました。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/131030>



○パリ、北京でラストラスファー・プレスイベント開催

9月18日にパリ、10月27日に北京で、ラストラスファーのプレスイベントを開催しました。カネカロン(アクリル系合成繊維)を使用した高品位なエコファーに、当社が開発した毛抜けを低減するラストラス加工を施した『ラストラスファー』は国内外のトップアパレルブランドから好評を得ています。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/131016>
<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130917>



(グループ戦略)

○競争力強化、事業拡大を目指し、食品事業部門の販売会社を統合

当社連結子会社であるカネカ食品販売株式会社、東京カネカ食品販売株式会社、東海カネカ食品販売株式会社、九州カネカ食品販売会社の4社を2013(平成25)年7月1日付で統合し、新販売会社カネカ食品株式会社を発足させました。4販売会社それぞれが強化してきた経営資源を集約し、業務運営の効率化と営業・物流・購買・技術開発の各機能強化を図ります。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130513>



○医療機器事業の消化器領域(内視鏡処置具)へ本格的に参入

医療機器の消化器(内視鏡処置具)でユニークな技術および製品を持つ株式会社リバーセイコーが本年7月1日より当社グループに加わりました。当社の得意とする高分子加工技術と同社の金属加工技術を組み合わせることで、消化器領域、循環器領域や他臓器(脳や腎臓など)で新製品の開発を進め、当事業の拡大を目指します。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130405>

(設備投資)

○磁気テープ用塩ビ系樹脂事業の譲受について

放送用やデータアーカイブに使用される磁気テープのバインダー樹脂の製造設備を日本ゼオン株式会社より取得し、本年11月1日より販売を開始しました。磁気テープ市場は、ビッグデータなど昨今のデータストレージ需要の高まりの中で、省エネルギーかつ安定性の高さに定評があり、今後も更なる技術革新により安定した成長が見込まれています。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/131025>

○当社鹿島工場西地区におけるメガソーラーの設置

当社鹿島工場西地区においてメガソーラーの運転を開始致しました。

今回稼動したメガソーラーの概要は次のとおりです。

- ・出力規模:太陽電池モジュール容量12.7MW
- ・太陽電池パネル:カネカ製薄膜シリコン太陽電池
- ・運転開始日:2013年10月1日

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/131010>



○冠動脈カテーテル交換用カテーテルを開発

冠動脈カテーテル交換用カテーテル(製品名: KUSABI)を開発し、本年7月より販売開始しました。

ガイディングカテーテル内でバルーンを拡張してガイドワイヤーを固定しカテーテル交換を補助するもので、国内で保険適用を受けている唯一の製品です。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130925>



○「ヒッグス粒子」発見に貢献

今年のノーベル物理学賞は「ヒッグス粒子」の存在を予言したヒッグス氏らが受賞しました。ヒッグス粒子の観測を可能にし、受賞を大きく後押しした欧州合同原子核研究機関(通称:CERN/セルン)の超伝導加速器絶縁材料として当社の超耐熱ポリイミドフィルム「アピカル」及び「ピクシオBP」が使用され、「ヒッグス粒子」の発見に貢献しました。



KANEKA

カガクでネガイをカナエル会社